

中心市街地活性化基本計画

●基本コンセプト

人が住み 人が訪れ
にぎわいとやさしさにあふれるまち「飛驒高山」

●基本方針

- ①美しさと快適性が調和した「住みやすいまち」
- ②楽しさと利便性が充実した「にぎわいのあるまち」
- ③ふれあいといきがいをお大切にした「やさしさにあふれるまち」

今回策定した計画では、平成22年度から26年度までの5年間で、まちなかに人が住みたくなる居住空間の保存・再

しかし、中心市街地の人口は、10年前と比較して15%減少し、65歳以上人口の占める割合は35%（市の全体平均26%）となっており、現状のままでは、町並景観の喪失や祭文化などの衰退につながる懸念があります。

高山市の中心市街地は、さまざまな都市機能が集積し、長い歴史の中で文化や伝統を育んできた「まちの顔」であるとともに、市民の交流の場となっています。

また、基本計画の策定にあわせて結成された「飛驒高山まちの元気印。応援団」など市民・民間との協働・連携した事業推進により、にぎわいのあるまちの実現を図ることで、市全体の発展につなげていくこととしています。

問合せ先

中心市街地
活性化推進室
35-3426



目指すは「まちなか」の にぎわい再生

中心市街地活性化基本計画を策定しました

16プロジェクトに78事業を推進

市では、中心市街地が地域経済や社会の発展に果たす役割の重要性に鑑み、市民をはじめ訪れる人々にとって、魅力と活気にあふれるまちづくりを推進するため、高山中心市街地活性化基本計画を策定しました。

生・創造に努めるほか、整備が進む旧矢嶋邸や高山駅周辺土地区画整理事業など交流・交通の結節点の整備により、中心市街地の回遊性を高める取り組みを進めます。

眼下に旧城下町を一望

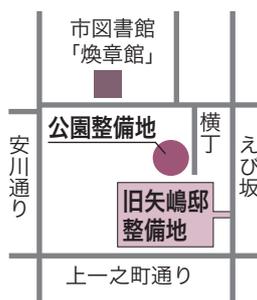
旧矢嶋邸東側の高台に公園整備

城下町高山の交流拠点として整備を進めている旧矢嶋邸の東側高台（馬場町2丁目地内）に新しく公園が整備されました。

市図書館「煥章館」側道路から横丁に入った場所に位置する新公園は、町並みの屋根上の目線で、市街地越しに周辺の緑豊かな風致地区や里山を望むことができます。ぜひ足を運んでいただき、歴史的景観を楽しんでください。

問合せ先

都市整備課
35-3176



歴史的景観が楽しめる公園

300年前の地割も紹介 東山遊歩道の散策マップ作成

東山遊歩道の整備に合わせて、当地域のPRと観光客の利便性の向上を目的とした専用の散策マップができました。

遊歩道ルートのご案内に加え、金森頼皆時代の地割と現在の高山市街地を掲載しており、当時に思いを馳せながら散策していただけます。また、海外からの観光客に対応するため英語も併記しました。



外国人に人気スポットの東山遊歩道の魅力をまとめたマップ

問合せ先 観光課 35-3145